

# 谷原小学校と十和小学校の統合に係る説明会（動画配信）に対する

## 意見の内容および教育委員会の考え方

意見提出期間	令和3年8月26日（木）～令和3年9月20日（月）		
意見提出者数	1人	意見件数	4件

※意見件数については、1つの意見であっても、内容により複数の意見として処理したものも含まれます。

※回答を希望されないご意見については、地域の方々へ向けた、小学校統合に係る説明会で触れさせていただいております。

※個人を特定できるようご意見は掲載を控えさせていただいております。

No.	意見項目	意見の内容	回答
1	統合により学校がなくなる地区の人口減少について	谷原地区、十和地区のどちらかの小学校が統合でなくなるにより、地区の過疎化・跡継ぎ不足が加速されないかと危惧しております。このことに関しての見解をお伺いします。	<p>統合により、どちらかの学校がなくなることが、地域の過疎化、跡継ぎ不足に、全く関係がないとは言い切れませんが、これが多大な影響を及ぼすということは少ないと考えております。</p> <p>理由といたしましては、統合により、通学区域が広域化することに対する通学支援策として、通学距離が市の基準を超えてしまったり、危険な通学路を一人で通うことになってしまったりする児童については、スクールバスによる通学支援を行うなど、通学環境には、特段の配慮をする予定であり、通学時間や通学時の安全性は、これまでと同様もしくは、それ以上にしていくよう準備を進めていくことがあげられます。</p> <p>また、学校跡地につきましても、地域にとって効果的な活用方法を考えることで、新たな地域の魅力となることも検討してまいります。</p> <p>統合することによる、児童数の増加と学区の広域化により、複式学級という教育的課題の大きい状況が解消され、子どもたちが学び、成長する環境、機会を向上させることだけでなく、保護者同士や地域の方々の新たな交流が生まれることで、周辺地域の発展、子育て環境の充実が図られ、若者世代が、このまちで子どもを育てたい、生まれ育ったまちに戻ってきたいと思えるような、まちづくりをしていくことが必要と考えております。</p>
2	統合する小学校に福岡小学校が含まれていない理由	小学校の統合は、市全体の動きも考慮して考える必要があると思えます。平成28年3月の「つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画」では、福岡小、十和小、谷原小が統合すると記載がありますが、福岡小のみが単独で存続することになった理由を教えてください。	<p>今回の統合は、福岡小学校のみを単独で残すという目的ではなく、教育的課題が大きい、複式学級の解消と、子どもたちの教育環境の向上を早急に解消・実現することを目的とした統合でございます。</p> <p>そのため、現在、複式学級が発生している谷原小学校と、人口推計上、今後、複式学級の発生が想定されている十和小学校の2校を対象といたしました。</p> <p>ご質問にございました、平成28年3月に策定した「つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画」については、現在、見直しを行い、新たな計画を策定しているところでございます。そちらでは、市全体の動向を見据え、複式学級の解消だけでなく、将来の市のまちづくりも考えた学校の在り方について記載していく予定でございます。</p>

3	みらい平地区の 小学校	<p>現在でも大きくなっている、みらい平地区の陽光台小、富士見ヶ丘小の今後の児童数の見込みはどうなっているのでしょうか？収容教室は不足しないのでしょうか？もし、不足するのであれば、周辺の谷原小と十和小を活用して、児童を分散させる方法もあるかと思いますが、そのようなお考えはないのでしょうか。このことについての見解をお願いします。</p>	<p>ご指摘のとおり、みらい平地区の小学校については、標準規模を超え、大規模校となっており、富士見ヶ丘小学校では、校舎の増築を行っているところです。</p> <p>なお、みらい平地区の児童は、令和6年をピークに減少に転じ、他の地区と同様に、ゆるやかな減少傾向となる推測をしております。</p> <p>ご質問の周辺の学校に分散させる方法については、検討致しましたが、誰を学区外の学校に通学させるのか線引きが難しいこと、就学途中の転校・離散は児童にとって負担となること、仮に富士見ヶ丘小学校から1学年10～20人程度ずつ別学校に移転したとしても、教室不足の解消には結びつかないことなど、課題が多いため、校舎を増設し、対応することといたしました。</p>
4	跡地利用	<p>仮に、統廃合でどちらかの小学校が廃校になった場合の、学校跡地についての提案です。児童の療育支援の中核となる児童発達支援センターを学校跡地に整備することを提案します。そのことで、伝統が新たな形で引き継がれるのではないのでしょうか。ご検討をお願いします。</p>	<p>学校施設をどのように利活用するかについては、現時点では未定でございます。</p> <p>それぞれの学校は、長い歴史と伝統を有しており、子どもたちの学習・生活の場としての機能はもとより、学校施設は災害時の避難場所や生涯学習の場として機能する側面もあり、地域コミュニティの中心となる施設として、重要な役割を担ってきました。これらの学校が地域で果たしてきた歴史的役割や地域事情に配慮し、公共施設や民間活用など、多様な利用方法が考えられます。</p> <p>この度いただきました、「学校跡地を療育支援のための施設とすることで、新たな形で伝統が引き継がれる」という貴重なご意見は、検討材料の一つとさせていただきます。誠にありがとうございます。</p> <p>引き続き、市役所内部だけでなく、市民の皆様からのさまざまなご意見を参考に検討いたしたく存じます。</p>